

第 12 回通常総会資料

令和 6 年 6 月 4 日

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

第 1 号 議 案

令和 5 年度事業報告書

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

令和 5 年度当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 13社 (前年度末比±0社)

賛助会員 24社 (前年度末比-2社) 退会：㈱マザーブレイン、サントリー㈱

2 理事会・総会の開催

- 1 令和 5 年 5 月 26 日 (金) 東京都渋谷区のリゾートトラスト東京ビル中会議室にて、本年度第 1 回理事会並びに第 11 回通常総会を開催。

理事会議題 ① 令和 4 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

② 令和 5 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件

総会議題 ① 令和 4 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

② 令和 5 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件

総会終了後、懇親パーティーを開催。ご来賓として経済産業省よりの 2 名を含め、正会員等約 30 名のご出席をいただきました。

- 2 令和 6 年 1 月 23 日 (火) 東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 2 回理事会を開催。

理事会議題 ① 令和 5 年 12 月までの事業報告並びに収支状況報告の件

② 新年度役員改選のため、役員人事方針等につき協議の件

③ 新年度事業計画大綱検討の件

理事会終了後、新年賀詞交歓会を東京ベイコート倶楽部グランドボールルームにて開催。ご出席者は、正会員、賛助会員及びご来賓として経済産業省から 1 名の約 70 名でした。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

- 1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、12 月 14 日～16 日に㈱マグナリゾートの浜名湖レークサイドプラザ

と KIARA リゾートへの訪問・見学を実施し、そのレポートをホームページに掲載しました。今年度は、ヒルトン沖縄瀬底リゾートのタイムシェアの訪問・見学を3月25日～27日に実施しました。大谷先生に報告書作成をお願いしており、後日ホームページに掲載する予定です。

2 タイムシェア研究会の開催

総会でお願いしたリゾートトラスト社の「50年定期借地権付きリゾート会員権」についての講演を、令和5年8月31日（木）リゾートトラスト東京ビル大会議室にて開催しました。講師はリゾートトラスト(株)経営企画部副部長・松下浩子様をお願いし、約1時間半講演と質疑応答を実施しました。これは、従来よりタイムシェア研究会で議論してきた所有権付き共有制の会員権の出口戦略のヒントになりうるのではないかとの考えから開催したものです。

出席者は、正会員、賛助会員（会員権の仲介業者等）及び関係者の方々約30名でした。なお、終了後場所を変えて情報交換会を実施し、約20名のご出席をいただき活発な議論が交わりました。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフキャリアアップ研修講演会

今年度も、開催できませんでした。

2 支配人・管理者研修会

対面で開催することに意義がある研修会として開催を見合わせておりましたが、オンライン開催も可能との情報を講師の先生から入手し、実施しました。

令和5年7月6日（木）12:00～15:00に毎回講師をお願いしているアクティブプラス(株)の石月基樹先生により「これからのリゾートホテル業界のあり方、現場マネジメントの強化について考える」というテーマで実施しました。

参加者は、4社28名（当初申し込みは、6社30名でしたが、2社2名が急用で欠席）で、4名ずつ7グループのグループ討議方式で行いました。参加者の感想としては、非常に価値のある研修だったという声が多かった反面、やはりリアルで対面の方が良いという感想もありました。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

ホームページのアクセス数を上げるため、従来から協会内のできごと、研究会の報告や常務理事の訪問先の調査・研究紀行文等ホームページ情報を大谷理事中心に随時更新してきました。さらに12年前から「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の調査研究レポートを大谷理事に

執筆をお願いし、ホームページに掲載しております。又、消費者相談室から悪質な業者情報について、随時お知らせすることとしていますが、今年度は特に情報は入っておりません。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

昨年度からスマートフォンでも対応が可能となるよう、従来の net commons から word press というコンテンツに変更しました。以前のものはスマホではほとんど字が小さすぎて見えませんでした。今回のものは非常に見やすくなったと思います。変更につきましては、大谷先生の紹介で、工学院大学の先生にメンテナンスも含めお願いしております。

アクセス数は月別に下記の通りで、今年度は 109,367 件です。

4月	7,220	8月	7,500	12月	6,079
5月	7,771	9月	7,961	1月	7,644
6月	7,459	10月	8,087	2月	6,835
7月	8,014	11月	6,155	3月	6,788

2 クラブとの共催イベントの実施

新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントを開催するクラブもなく実施できませんでした。

3 その他

- ・毎年恒例ですが、公益財団法人日本生産性本部よりレジャー白書についてのヒアリングがあり、それに対して情報提供を行いました。

(4) リゾネット事業

本年度のリゾネット参加施設は 12 社、国内 26 施設（前年度比±0）でスタート。前期末にパンフレット 18,000 部（前年度比-1,000 部）を配布済。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	141	8月	731	12月	169
5月	246	9月	341	1月	211
6月	122	10月	286	2月	201
7月	371	11月	315	3月	286

本年度末までの利用者数合計 3,420 名（前年同期比 +18.4%）

前年同期利用者数合計 2,889 名

利用実績は昨年度を約 18%上回ってきており、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準に戻りつつあります。旅行需要の高さがうかがえます。

こんな中でも、現状で送客の多いクラブは、セラヴィリゾート泉郷が大きく他を引き離してトップ、次いで鳴川リゾートクラブ、紀鉄クラブ。受入の多い施設は、断トツ（全体の約 8 割）でヴィラ北軽井沢エルウィングです。

（5）消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりで、昨年度に比べやや減少しています。本年度の特徴としては、相変わらず会員権の処分についての相談が寄せられています。特に共有制会員権の会員企業についての相談が多くありました。

しかも、消費者センター絡みの案件が多く、その案件ごとに各社の担当者と相談の上対応しました。

一般消費者に対しては、悪徳業者の表立った動きがなかったため、特に注意喚起情報の発信はありません。

4 その他の事項

4月21日（金）令和4年度の監査（佐藤監事・朽本監事）を実施。

6月12日（月）内閣府公益認定等委員会へ「令和4年度の事業報告、収支決算報告、令和5年度の事業計画、収支予算」をネットにて提出。
同時に「公益目的支出計画の実施完了報告」を提出。

8月7日（月）内閣総理大臣より「公益目的支出計画の実施完了の確認書」が届く

10月23日（月）本年度上期の会計監査（佐藤監事）を実施。

以上

令和5年度消費者相談室取扱状況

(一社)日本リゾートクラブ協会

消費者相談室

1. 取扱件数	令和4年度	令和5年度	前年比増減
相談・問い合わせ	67	53	-14
苦情	0	0	0
合 計	67	53	-14

2. 相談問い合わせの内訳	令和4年度	令和5年度	前年比増減
協会の案内・資料請求など	15	20	5
会員権の売却検討	6	8	2
会員権の購入検討	2	2	0
加盟会社の問い合わせ	35	13	-22
非加盟会社の問い合わせ	4	4	0
事業化相談・業界調査	3	1	-2
その他	2	5	3
合 計	67	53	-14

3. 苦情の内訳	令和4年度	令和5年度	前年比増減
個 人	0	0	0
法 人	0	0	0
預託制	0	0	0
共有制	0	0	0
その他システム	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0
勧 誘	0	0	0
契 約	0	0	0
解約・預託金返還	0	0	0
利用・料金	0	0	0
その他	0	0	0
会員権仲介取引	0	0	0

第 11 期 決 算 報 告 書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

東京都渋谷区代々木 4 丁目 36 番 19 号
リゾートトラスト東京ビル 3 階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 勝 康

令和5年度収支計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
収入の部	1.入会金収入	150,000	0	150,000
	正会員入会金	100,000	0	100,000
	賛助会員入会金	50,000	0	50,000
	2.会費収入	7,750,000	7,440,000	310,000
	正会員会費	5,100,000	5,040,000	60,000
	賛助会員会費	2,650,000	2,400,000	250,000
	3.事業収入	1,750,000	822,000	928,000
	調査・研究事業	0	0	0
	研修会・セミナー事業	500,000	84,000	416,000
	情報収集・提供事業	500,000	0	500,000
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	750,000	738,000	12,000
	消費者相談事業	0	0	0
	4.その他収入	300	292	8
	受取利息	300	292	8
	雑収入	0	0	0
5.公益事業推進基金より	475,000	475,837	△ 837	
	収入合計	10,125,300	8,738,129	1,387,171

貸借対照表

(令和6年3月31日)

単位:円

	勘定科目		当年度	前年度	増減
	大科目	中科目			
資産の部	流動資産	現金	58,676	43,870	14,806
		普通預金	7,732,641	5,626,289	2,106,352
		定期預金	14,000,000	14,000,000	0
		未収金	-	-	0
	流動資産合計		21,791,317	19,670,159	2,121,158
	特定資産	公益事業 推進基金	-	475,837	△ 475,837
		特定資産合計	-	475,837	△ 475,837
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	72,800	0
		その他の固定資産 合計	72,800	72,800	0
	固定資産合計		72,800	548,637	△ 475,837
資産合計			21,864,117	20,218,796	1,645,321
負債の部	流動負債	預り金	3,443,086	2,263,086	1,180,000
		未払金	5,610	0	5,610
	流動負債合計		3,448,696	2,263,086	1,185,610
正味財産の部	正味財産	正味財産	18,415,421	17,955,710	459,711
	正味財産合計		18,415,421	17,955,710	459,711
負債及び正味財産合計			21,864,117	20,218,796	1,645,321

財 産 目 録

(令和6年3月31日)

単位:円

	勘 定 科 目		金 額	摘 要
	大 科 目	中 科 目		
資 産 の 部	流 動 資 産	現 金	58,676	手許現金
		普 通 預 金	7,732,641	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
		定 期 預 金	14,000,000	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
	流 動 資 産 合 計		21,791,317	
	特 定 資 産	公 益 事 業 推 進 基 金	0	
	そ の 他 の 固 定 資 産	電 話 加 入 権	72,800	電話加入権
	固 定 資 産 合 計		72,800	
資 産 の 合 計		21,864,117		
負 債 の 部	流 動 負 債	預 り 金	3,443,086	
		未 払 金	5,610	NTTコミュニケーションズ(通信料)
	流 動 負 債 合 計		3,448,696	
負 債 の 合 計		3,448,696		
正 味 財 産		18,415,421		

令和5年度正味財産増減計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		0	0	0
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	0	0
受 取 会 費		7,440,000	7,640,000	△ 200,000
	正 会 員	5,040,000	5,040,000	0
	賛 助 会 員	2,400,000	2,600,000	△ 200,000
事 業 収 益		822,000	753,170	68,830
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	84,000	0	84,000
	情報収集・提供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	738,000	753,170	△ 15,170
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		292	281	11
	受 取 利 息	292	281	11
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,262,292	8,393,451	△ 131,159
【経常費用】				
事 業 費		5,346,512	4,919,013	427,499
	調 査・研 究	1,442,580	1,245,744	196,836
	研修会・セミナー	620,997	509,941	111,056
	情報収集・提供	1,491,553	1,368,858	122,695
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	1,307,017	1,310,840	△ 3,823
	消費者相談	484,365	483,630	735
管 理 費		2,456,069	2,577,479	△ 121,410
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	502,760	563,436	△ 60,676
	旅費交通費	128,990	147,716	△ 18,726
	通 信 費	34,280	25,720	8,560
	備 品 費	0	6,644	△ 6,644
	消 耗 品 費	71,138	52,670	18,468
	印 刷 費	0	0	0
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	9,177	9,559	△ 382
	賃 借 料	409,420	409,420	0
	支払手数料	91,432	85,822	5,610
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	0	0	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	58,872	126,492	△ 67,620
経常費用計		7,802,581	7,496,492	306,089
当期経常増減額		459,711	896,959	△ 437,248
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		459,711	896,959	△ 437,248
一般正味財産期首残高		17,955,710	17,058,751	896,959
一般正味財産期末残高		18,415,421	17,955,710	459,711

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		18,415,421	17,955,710	459,711
--------------	--	------------	------------	---------

令和5年度正味財産計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		0	0	0
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	0	0
受取会費		7,440,000	7,640,000	△ 200,000
	正 会 員	5,040,000	5,040,000	0
	賛 助 会 員	2,400,000	2,600,000	△ 200,000
事業収益		822,000	753,170	68,830
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	84,000	0	84,000
	情報収集・提供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	738,000	753,170	△ 15,170
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		292	281	11
	受 取 利 息	292	281	11
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,262,292	8,393,451	△ 131,159
				0
【経常費用】				
事業費		5,346,512	4,919,013	427,499
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	0	0
	旅費交通費	648,923	421,153	227,770
	通信費	153,201	180,646	△ 27,445
	備品費	1,772	8,582	△ 6,810
	消耗品費	23,370	22,083	1,287
	会議費	206,029	56,196	149,833
	印刷費	766,700	800,900	△ 34,200
	水道光熱費	21,414	22,303	△ 889
	賃借料	822,360	822,360	0
	諸謝費	110,000	0	110,000
	諸雑費	72,743	64,790	7,953
管 理 費		2,456,069	2,577,479	△ 121,410
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	502,760	563,436	△ 60,676
	旅費交通費	128,990	147,716	△ 18,726
	通 信 費	34,280	25,720	8,560
	備 品 費	0	6,644	△ 6,644
	消 耗 品 費	71,138	52,670	18,468
	印 刷 費	0	0	0
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	9,177	9,559	△ 382
	賃 借 料	409,420	409,420	0
	支払手数料	91,432	85,822	5,610
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	0	0	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	58,872	126,492	△ 67,620
予備費		0	0	0
経常費用計		7,802,581	7,496,492	306,089
経常増減額		459,711	896,959	△ 437,248
経常外増減額		0	0	0
一般正味財産増減額		459,711	896,959	△ 437,248
一般正味財産期首残高		17,955,710	17,058,751	896,959
一般正味財産期末残高		18,415,421	17,955,710	459,711

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
				0
III 正味財産期末残高		18,415,421	17,955,710	459,711

計算書類に対する注記

特定資産の増減額及びその残高(令和6年3月31日)

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 公益事業推進基金	475,837	0	475,837	0
合 計	475,837	0	475,837	0

令和6年 4月 25日

監査報告書

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

監事

佐藤 茂 

監事

柄本 雅尚 

第11期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 佐藤 茂は会計帳簿の分野を中心に、監事 柄本 雅尚は法人業務の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

第 2 号 議 案

新年度役員改選のため、役員人事方針について

令 和 6 年 度 役 員 人 事 (案)

(敬称略)

役 名	旧	新	所 属 ・ 役 職	備考
代表理事 (会 長)	伊藤 勝康	〃	リゾートトラスト㈱ 代表取締役会長	重任
〃 (副会長)	鈴木 健史	〃	㈱鴨川グランドホテル 代表取締役社長	〃
理 事 (常務理事)	今泉 陽一	〃	事務局長	〃
〃	大谷 毅	〃	信州大学 名誉教授	〃
〃	中川 源行	〃	紀州鉄道㈱ 代表取締役社長	〃
〃	冨 道雄	〃	㈱ダイヤモンドソフティ 取締役副会長	〃
〃	浜口 憲一	〃	㈱セラヴィリゾート泉郷 代表取締役社長	〃
監 事	佐藤 茂	〃	佐藤公認会計士事務所 公認会計士・税理士	〃
〃	朽本 雅尚	〃	㈱萬代 代表取締役	〃

第 3 号 議 案

総会にて新理事・監事の人事案が承認されたあと、理事会を開催し、理事互選により

会長、副会長、常務理事を選出し報告する件

第 4 号 議 案

令 和 6 年 度 事 業 計 画 書

令和 5 年度の世界の状況は、ロシアのウクライナへの侵攻が続いて 2 年が経過しました。さらに、令和 5 年 10 月中東でハマスによるイスラエルへの越境攻撃とイスラエル軍によるガザ地区への攻撃が始まり未だ停戦の糸口が見つかっていません。人道的見地からも早期に終結して欲しいものです。それに加えて、今年秋に行われるアメリカ大統領選挙の動向によっては、世界情勢がどう転んでいくか全く不透明な状況です。

わが国でも、新型コロナウイルス等感染症については、ほぼ収束していると言えそうですが引き続き状況を見守る必要はあるかと思えます。ただ、政界では自民党派閥の裏金問題が表面化し、岸田政権もほとんど動きがとれない状況です。また経済面においては、昨年日銀総裁に植田和男氏が就任しましたが、今年になってから少しずつ利上げの気配をみせてきており、現状それが円安を加速しかねない状況となっております。さらに円安が進めば、いくら賃上げがあったとしても輸入に頼っているエネルギー関連商品や食料品等の値上げにも直結することから注視しなければなりません。

観光、宿泊等のサービス産業関係は、いままで新型コロナウイルス感染で押さえつけられてきた反動から非常に忙しくなり、逆にホテル業界では人手不足のため悲鳴を上げている状況と聞いております。インバウンドも、今年 3 月の推計値では単月では初めて 3 百万人を超えたとのニュースも出ており、オーバーツーリズムの懸念も生じているくらい活況のようです。会員制リゾートも、集客については同様に好調を維持しているようですし、会員権の販売も、株価が比較的堅調ということもあり、好調と推定されております。

こうした中で、協会の果たすべき役割は、会員企業の経営安定のための情報の発信をしながら、リゾートクラブ産業の認知度及び信頼度のさらなる向上及び国民の皆様へ、安心感、親しみ、気軽さをもっていただけるような業界のイメージアップ戦略の遂行です。そのため、リゾート業界をさらに活性化していく手段として、次のような具体策を計画しました。

令和 4 年度で平成 25 年一般社団法人に移行以来実施した公益目的支出計画の実施は完了しており、これに縛られない収益活動も可能となりますが、なかなか簡単に見つけることはできません。当面、共益活動を継続しますが、会員企業皆様からのご提案をお願いいたします。

1 調査研究事業

リゾートライフ調査研究・情報提供

公益目的支出事業の継続事業として実施してきましたが、今後も引き続きリゾートライフ調査研究・情報提供事業を実施します。これは、国内リゾート地域の歴史、風土、

文化及びその魅力等を調査研究し、リゾートクラブシステムを最大活用したその地域の楽しみ方を、ホームページに分かりやすく掲載・紹介していくことです。昨年度は、Hilton Grand Vacations の沖縄にあるヒルトン沖縄瀬底ビーチを大谷理事と3月下旬に訪問・見学を実施しました。現在、そのレポートをホームページに掲載する準備中です。今年度もまた大谷理事のご協力のもと、今まで実施していない会員企業の施設を視察する予定です。

また、「タイムシェア研究会」を「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」のテーマで開催しております。昨年度は、リゾートトラスト社に「50年定期借地権付きリゾート会員権」について講演をお願いできましたが、重要かつ解決しなければならぬ課題であり、さらに議論を継続していきたいと思っております。

2 研修会・セミナー事業

(1) ホテルスタッフ・管理部門対象の研修会の開催

昨年度もスタッフのキャリアアップを目的とした研修講演会を実施できませんでした。現状では感染症を気にすることもなくなっており、本年度はスタッフ向けの研修会開催を検討します。

(2) 支配人・管理者研修会の開催

昨年度は、7月にオンラインで研修会を開催しました。本来この研修会は対面で開催してこそ有意義なものと考えており、今年度は栃本教育委員長や講師の先生とも協議の上、リアルで開催することを予定しております。支配人及び管理者のマネジメント能力、掌握力、社会性を高めるための研修会であり、対象となる多くの方々に受講をお願いいたします。

3 情報の収集と提供事業

(1) 会員制リゾートクラブ事業者の情報収集

現在国内で営業を継続している会員制リゾートクラブ事業者（会員各社も）についての情報を収集し、様々な資料を収集していくことはもちろん、その集めた資料を、ホームページを使って発信します。

(2) ホームページによる情報の提供

当協会のホームページは、加盟クラブを主体としたリゾートクラブの包括的なホームページという特徴があり、情報媒体としての広告価値が高いものと考えております。大谷理事を中心に更新作業を実施しておりますが、訪問数は着実に増加しております。今年度も関係者の意見を集約し、ページ内容を強化するとともに、スマートフォン向けのコンテンツを含め、常に最新性を保つよう随時更新して、魅力ある情報を発信し続けることとします。

(3) 新聞雑誌への広報等

新聞やテレビ・ラジオ等からの取材依頼についても積極的に対応し、会員制リゾートクラブの情報発信を続けていきます。毎年、日本生産性本部の「レジャー白書」への情報提供も続けております。

(4) 共催イベントの開催

新型コロナウイルスの感染拡大があったため、どちらのクラブでも現状ほとんど開催しておりません。新たなリゾートのファンを呼び込むためにも開催できることを願っています。

4 消費者相談事業

公益目的支出計画の継続事業として実施してきた消費者情報提供事業を引き続き同様に実施します。

事業の内容としては、

- ① 会員制リゾートクラブへの入会に関する注意点の照会・相談対応
- ② 会員権の売買や譲渡に関する相談対応
- ③ 個別のリゾート事業者についての照会・相談対応
- ④ リゾート会員権に関する相談の中から、ホームページを通じてトラブル情報の発信

また、会員企業各社や消費者庁の国民生活センターとも情報を共有し、悪質な業者の排除に努めていきます。

5 相互利用事業

リゾネット事業

リゾネットは、協会加盟クラブの差別化策として、会員に大変好評で有意義なものであり、会員との結びつきを強化する事業となっております。利用者もコロナ前に戻りつつあります。令和6年度は、令和5年度より1施設減少での実施となりますが、今後リゾネット協議会での提案を踏まえた改善策の実現、ホームページ活用による施設ごとのタイムリーな情報提供により、さらに利用の促進を図る計画です。

6 その他重点事項

(1) 会員組織の拡大策

業界全体からみれば正会員については、新規に参入する企業も少なく、さらなる会員の増強は厳しい状況です。

その中で、未加入の健全な会員制リゾート事業者へのアプローチを続けることはもちろん、会員制をとっていない事業者にも会員制のメリットを伝えながら勧誘していきます。会員以外の会社に対して研修会等の行事に門戸を広げるなどの方策により、正会員、賛助会員の新規入会促進への活動を推進します。

(2) 委員会機能の強化

時代の流れが速く、種々の課題が発生することに備え、合同委員会や各種協議会の機能を強化し、それらにスピーディーに対応できる相互協力体制を構築します。

協会の運営は、事務局 1 名体制で、活動にも限界があり、会員各社よりの提案・提言が必要となります。

令和6年度（第12期）収支予算書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

東京都渋谷区代々木4丁目36番19号
リゾートトラスト東京ビル3階

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

会 長 伊 藤 勝 康

令和6年度収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差異
1.入会金収入		150,000	150,000	0
	正会員	100,000	100,000	0
	賛助会員	50,000	50,000	0
2.会費収入		7,550,000	7,750,000	△ 200,000
	正会員	5,100,000	5,100,000	0
	賛助会員	2,450,000	2,650,000	△ 200,000
3.事業収入		1,730,000	1,750,000	△ 20,000
	調査・研究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	500,000	0
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	730,000	750,000	△ 20,000
	消費者相談	0	0	0
4.その他収入		300	475,300	△ 475,000
	受取利息	300	300	0
	雑収入	0	0	0
	公益事業推進基金から	0	475,000	△ 475,000
収入合計		9,430,300	10,125,300	△ 695,000

(支出の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差額
1.事業費		6,175,000	6,390,000	△ 215,000
	調査・研究	1,500,000	1,500,000	0
	研修会・セミナー	1,000,000	1,000,000	0
	情報収集・提供	1,800,000	2,000,000	△ 200,000
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	1,385,000	1,400,000	△ 15,000
	消費者相談	490,000	490,000	0
2.管理費		3,284,000	3,059,000	225,000
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	800,000	500,000	300,000
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通信費	40,000	35,000	5,000
	備品費	20,000	20,000	0
	消耗品費	150,000	150,000	0
	印刷費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃借料	420,000	420,000	0
	支払手数料	180,000	160,000	20,000
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸雑費	200,000	300,000	△ 100,000
3.予備費		200,000	200,000	0
4.公益事業推進基金		0	0	0
支出合計		9,659,000	9,649,000	10,000
当期収支差額		△ 228,700	476,300	△ 705,000
前期繰越収支差額		17,396,449	16,362,172	1,034,277
次期繰越収支差額		17,167,749	16,838,472	329,277

令和6年度収支予算書（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
【経常収益】				
受取入会金		150,000	150,000	0
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	50,000	50,000	0
受取会費		7,550,000	7,750,000	△ 200,000
	正 会 員	5,100,000	5,100,000	0
	賛 助 会 員	2,450,000	2,650,000	△ 200,000
事業収益		1,730,000	1,750,000	△ 20,000
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	500,000	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	730,000	750,000	△ 20,000
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		300	475,300	△ 475,000
	受 取 利 息	300	300	0
	雑 収 入	0	475,000	△ 475,000
経常収益計		9,430,300	10,125,300	△ 695,000
				0
【経常費用】				
事業費		6,175,000	6,390,000	△ 215,000
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	0	0
	旅費交通費	700,000	700,000	0
	通信費	250,000	300,000	△ 50,000
	備品費	80,000	80,000	0
	消耗品費	25,000	25,000	0
	会議費	500,000	600,000	△ 100,000
	印刷費	850,000	900,000	△ 50,000
	水道光熱費	30,000	30,000	0
	賃借料	830,000	745,000	85,000
	諸謝費	250,000	250,000	0
	諸雑費	140,000	240,000	△ 100,000
管 理 費		3,284,000	3,059,000	225,000
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	800,000	500,000	300,000
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通 信 費	40,000	35,000	5,000
	備 品 費	20,000	20,000	0
	消 耗 品 費	150,000	150,000	0
	印 刷 費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃 借 料	420,000	420,000	0
	支払手数料	180,000	160,000	20,000
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	200,000	300,000	△ 100,000
予備費		200,000	200,000	0
経常費用計		9,659,000	9,649,000	10,000
経常増減額		△ 228,700	476,300	△ 705,000
経常外増減額		0	△ 475,000	475,000
一般正味財産増減額		△ 228,700	1,300	△ 230,000
一般正味財産期首残高		16,911,551	16,910,251	1,300
一般正味財産期末残高		16,682,851	16,911,551	△ 228,700

II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		16,682,851	16,911,551	△ 228,700
--------------	--	------------	------------	-----------

■ 正 会 員 名 簿 (令和6年3月31日現在)

(株)ヴィラ北軽井沢

代表取締役 大塚 勝己 〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢 1924-172 0279-84-5555

ウィンダム・デスティネーションズ・ジャパン(株) (サンダンス・リゾートクラブ)

代表取締役 Eric Dignazio 〒102-0073 千代田区九段北 4-1-9 市ヶ谷 MSビル 03-5212-7400

(株)鴨川グランドホテル (鴨川リゾートクラブ)

代表取締役社長 鈴木 健史 〒296-0044 鴨川市広場 839-13 04-7094-5581

紀州鉄道(株) (紀鉄クラブ)

代表取締役社長 中川 源行 〒103-0015 中央区日本橋箱崎町 1-7 千歳ビル 03-3230-2261

(株)セラヴィリゾート泉郷 (オアシスクラブ)

代表取締役社長 浜口 憲一 〒170-0005 豊島区南大塚 2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル 03-5981-2301

(株)ダイヤモンドソサエティ (ダイヤモンドホテルメンバーズ)

代表取締役会長 宗澤 政宏 〒540-0018 大阪市中央区粉川町 2-9 06-6765-1530

東京信用販売(株) (東京レジャーライフクラブ)

代表取締役社長 佐々木克之 〒414-0002 静岡県伊東市湯川 4-2-15 伊東パワール 0557-36-6181

株式会社日本ハウス・ホテル&リゾート倶楽部 (みやび倶楽部)

代表取締役社長 田端快健 〒102-0072 千代田区飯田橋 4-3-8 日本ハウスHD 飯田橋ビル 03-6265-6181

(株)萬代 (オテル・ド・マロニエクラブ)

代表取締役 枋本 雅尚 〒463-0070 名古屋市守山区新守山 3503 052-792-1100

Hilton Grand Vacations Japan 合同会社

代表社員 Jeffrey Bernier 〒160-6108 新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産ター 03-6866-4870

(株)マイステイズ・ホテル・マネジメント (エピナールリゾートクラブ)

代表取締役 代田 量一 〒100-0032 港区六本木 6-2-31 六本木ビルズ ノースタワー 14階 03-6430-6830

(株)マグナ. リゾート (マグナ. リゾートクラブ)

代表取締役社長 條 勇二郎 〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 053-524-1311

リゾートトラスト(株) (プライベートリゾートエクシブ)

代表取締役会長 伊藤 勝康 〒460-0005 名古屋市中区東桜 2-18-3 052-933-6000

■ 賛助会員名簿 (令和6年3月31日現在)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)	453-6116	名古屋市中村区平池町4-60-12グロハルコート16F	052-563-9433
アスレ(株)	501-3203	岐阜県関市神野116	0575-20-2033
(株)ALIVE	424-0844	静岡市清水区西高町12-29	054-355-4001
(株)e会員権	231-0014	横浜市中区常盤町3-21 アライアンス関内ビル	045-222-6521
(株)N. F. C	453-6127	名古屋市中村区平池町4-60-12グロハルコート27F	052-583-6871
(株)エンゼル	100-0006	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館11階	03-3201-6655
鹿島建設(株)	107-8388	東京都港区元赤坂1-3-1	03-6438-2272
(株)観光企画設計社	105-0004	東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル6階	03-6430-9011
(株)きんでん	531-0074	大阪市北区本庄東2-3-41	06-6375-6010
サッポロビール(株)	150-8522	東京都渋谷区恵比寿4-20-1	03-5475-0626
(株)サンゲツ	140-8611	東京都品川区東品川3-20-17	03-3474-1245
住商インテリアインターナショナル(株)	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋ビル1階	03-5577-1761
(株)ダイヤモンドSR	542-0081	大阪市中央区南船場1-3-27 NIL南船場ビル5D	06-6575-7850
(一社)日中経済文化交流協会	135-0007	東京都江東区新大橋1-12-11 安川ビル4F	03-5638-2125
(株)日本経済広告社	101-8323	東京都千代田区神田小川町2-10	03-5282-8000
(株)パンインテリアプロダクト	110-0016	東京都台東区台東4-8-5 T&T御徒町ビル	03-5818-6941
(株)マイリゾート	420-0847	静岡市葵区西千代田町10-4	054-247-7771
(株)丸八真綿	433-8124	静岡県浜松市中区泉3-1-43 D02F	053-485-4108
(株)安井建築設計事務所	540-0034	大阪市中央区島町2-4-7	06-6943-1371
(株)ヤマグチ企画	425-0075	焼津市西焼津15-15	054-631-6037
(株)悠久	547-0014	大阪市平野区長吉川辺3-9-18	06-4305-7030
リゾート・ステーション(株)	103-0027	東京都中央区日本橋3-3-12 E-1ビル6F	03-3271-5233
(株)リゾートライフ	460-0002	名古屋市中区丸の内2-19-25MS桜通ビル1F	052-222-0246
(株)ワタベ印刷所	961-0936	白河市大工町18	0248-22-3241